

平成16年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算金額	決算金額	差 額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,190	5,190	0	
施設整備補助金	32	32	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	4	13	9 (注1)	
自己収入	11,455	12,115	660	
授業料及入学金検定料収入	605	601	4 (注2)	
附属病院収入	10,792	11,121	329 (注3)	
雑収入	58	393	335 (注4)	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	759	1,008	249 (注5)	
計	17,440	18,358	918	
支出				
業務費	15,545	15,475	70	
教育研究経費	4,747	4,531	216 (注6)	
診療経費	9,692	9,864	172 (注7)	
一般管理費	1,106	1,080	26 (注8)	
施設整備費	32	32	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費	759	965	206 (注9)	
長期借入金償還金	1,104	1,113	9 (注10)	
計	17,440	17,585	145	
収入 - 支出	0	773	773	

予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、補正予算により繰り上げ償還の予算が措置されたため、決算金額が9百万円多額となっています。
- (注2) 授業料及び入学金検定料収入については、平成17年度授業料の前納受領額の減及び研究生の減等により予算金額に比して決算金額が4百万円少額となっています。
- (注3) 附属病院収入については、診療報酬請求額の増等により予算金額に比して決算金額が329百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として承継剰余金債務分と新規事業(駐車場収入)により、予算金額に比して決算金額が335百万円多額となっています。
- (注5) 予算段階で予定していなかった民間からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が249百万円多額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、主として人件費が減少したこと、省エネ対策による光熱水料の減少等により予算金額に比して決算金額が216百万円少額となっています。
- (注7) 診療経費については、診療報酬請求額の増に伴う材料費の増と診療材料の適正在庫確保による増等により予算金額に比して決算金額が172百万円多額となっています。
- (注8) 一般管理費については、主として人件費が減少したことにより、予算金額に比して決算金額が26百万円少額となっています。
- (注9) 注5に示した理由により、予算金額に比して決算金額が206百万円多額となっています。
- (注10) 注1に示した理由により、予算金額に比して決算金額が9百万円多額となっています。
- (注11) 金額の端数処理は、百万円未満を四捨五入しております。